

第2層生活支援コーディネーターによる活動

センター名	活動内容
市川・根岸 ミライフル	<p>○地域の民生委員やサロンの代表が集まる定例会に毎回出席する事で、信頼関係を築き、ミライフル主体の介護予防教室を主催して根岸地区で開催を行った。</p> <p>また、根岸公民館から相談があり、高齢者いきいき教室を開催するべく、協議を重ね、今年令和7年5月から来年令和8年3月までのサイクルで毎月1回開催する事となる。</p> <p>○八戸市の音楽関係者に声を掛けて、月1回の持ち回りで認知症予防の音楽イベントを定期的に開催していくこととなる。今後は、開催の幅を更に広げていきたいと考えている。</p>
下長・上長 はくじゅ	<p>○介護保険サービス以外のサービスのマッチング</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透析時の送迎から団地階段の昇降見守り支援の対応をしてくれるサービスの紹介 ・不用品やゴミの撤去業者調整 ・地域住民への見守り依頼 ・入院中の洗濯や買い物を担ってくれる業者紹介 ・雪かき支援業者紹介
田面木・館・豊崎 ハピネスやくら	<p>○地域の高齢者やケアマネジャーから、ゴミ出しや雪かきについての相談を受けた際に障害福祉事業所へ支援を依頼した。</p> <p>○地域のほっとサロンにおいて、主催者からの要望に合わせて地域の介護事業所・企業等へ講師を依頼するなどのマッチングを行った。</p>
長者・白山台 ちょうじゃの森	<p>○昨年開催した地域ケア会議圏域会議での課題に、「町内に集まれる場所がない」があがった。今年度の圏域会議にて、課題解決に向けて地域の様々な方と検討していきたいと考えている。</p>
三八城・根城 みやぎ	<p>○グループの施設から休館日を利用して施設の一部を住民に開放したいと相談を受け、11月から開催している。マシンを使った運動、健康相談、カラオケなどを行っている。センターも参加し相談対応やサロンの周知を行っている。</p>
小中野・江陽 アクティブ24	<p>○江陽地区民生委員児童委員協議会より、地区公民館で開催する同協議会主催のサロンで、健康に関するお話や健康相談をお願いしたいと依頼を受け、地域貢献として令和5年10月より参加している。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度2回、令和6年度3回参加 ・インフルエンザ予防接種、食中毒予防のポイント、冬場の健康管理のポイント、暑熱順化、熱中症予防のポイント、脳活性レクリエーション、転倒予防体操、健康相談

<p>柏崎・吹上 八戸市医師会</p>	<p>○吹上地区の館越町民生委員より、敷地内離れの平屋を有効活用していきたいと相談を受け、12月に家族向けの介護教室を開催。民生委員、町内会長含め10名弱が集まり、椅子からの立ち上がり、床からの立ち上がり、寝返りなどの介助の仕方について行った。次回3月は軽体操のあとに認知症について話す予定としている。</p> <p>次年度は毎月開催と、見守りネットワークを立ち上げ、活動前後に行なう予定である。</p> <p>○柏崎地区の諏訪三丁目においてこれまで活動の場がなかったが、地域の方々の活動や憩いの場として、住宅公園を運営しているハシモトホームに借用を依頼。ハシモトホームも地域に根差した活動を模索していたとのことで快く応じていただき、現在は介護予防教室からスタートしているが、将来的には諏訪三丁目とハシモトホームがこの活動を運営できるよう支援していく予定である。</p> <p>○吹上地区で市包括主催のワークショップが開催され、地域への参加呼びかけや当日の出席など連携して対応した。ワークショップで出た意見を、地域での取組につなげていけるよう、圏域会議でテーマとして取り上げ検討を行う予定。交通手段が無いことに困る声が聞かれたため、タクシー会社や自動車学校に参加してもらい、解決方法を検討する予定。その他、在介や障害福祉サービス事業所にも参加を求める予定。</p>
<p>是川・中居林 ミライフル</p>	<p>○地域の施設から入所者のレクリエーションの講師について相談を受け、民間で講義などを行っている地域の方へつなげた。</p>
<p>大館・東 みやぎ</p>	<p>○センターとして、東地区と大館地区の予防教室、サロンの支援をしています。(大館地区は予防教室とシニア楽々、ひまわりの会に参加し、講師を派遣したり、センター職員が体操などを行っている。東地区はサロンに講師を派遣したり、センター職員が体操等を行っている)</p>
<p>白銀・湊 えがお</p>	<p>○R3年度より一部町内会より介護予防教室の代替えとして住民同士の交流、外出機会の確保、健康維持等を目的とした「場」を作るための協力要請があり話し合いを行い、白銀地区1カ所、湊地区2カ所の町内で賛同を得られ「ラジオ体操の集い」としてスタート。</p> <p>○「集い」については開催町内の実情に合わせ、月に1~2回開催しており、開催に際しては町内会担当者とながおとで役割分担しておりどちらかに任せきりになるのではなく協力し合い開催している。</p> <p>○R5年度からは白銀地区で新たに1カ所開催が増えている。</p> <p>○集いへの参加人数は概ね10名~20名程度、開催場所も公園や集会所を使用している。</p>
<p>白銀南・鮫・南浜 瑞光園</p>	<p>○地域の施設で行われている通いの場と青森県作業療法士会をマッチングし、参加者の体力測定会を実施した。今後は体力測定会を継続しデータを積み重ねることで、参加者の体力の推移を把握することができるようにする。同集いの場において地域の大学に会議に加わってもらうことで、学生ボランティアの受け</p>

	<p>入れにもつながった。センターも隔回で参加している。</p> <p>○地域住民から「町内で集いの場が欲しい」と要望があり、町内会との話し合いの場を設定し日時、頻度、名称を住民と検討した。その後、青森県作業療法士会より提供のあった「いきいき100歳体操」を導入した。その後、同集いの場において認知症サポーター養成講座、地域の短大を招いての健康講座を開催した。健康講座開催に際し周知用ポスターをセンターで作成し、近隣の病院、薬局、スーパーマーケットに掲示を依頼し、圏域外からの参加者獲得につながった。住民主体の運動会も開催されセンターも参加した。</p> <p>○地域の施設の運営推進会議において、地域の中学校に対し認知症サポーター養成講座、認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施を提案し令和7年度11月開催予定。地域の大学、こども園、青森県作業療法士会と共同実施予定。</p> <p>○町内で「老人クラブを立ち上げたい」と話している代表者に対し、既存の集いの場の見学をマッチングし、老人クラブの立ち上げにつながった。同団体に対し、ポッチャ体験会、「いきいき100歳体操」講座を実施した。令和7年2月に認知症サポーター養成講座を実施予定。</p> <p>○地域の学校の「学校見学会」について学校と協働し、地域住民に対し周知を図った。地域住民とともに参加した。その後、学校側から住民に直接連絡があり、生徒に対し住民がグラウンドゴルフを教える授業の開催につながった。同学校によるポッチャ交流大会に住民とともに参加した。</p> <p>○地域で令和6年10月に新たに立ち上がった集いの場に毎月参加し運営を手伝っている。要望があった際には講話を行っている。令和7年1月同地区の地域福祉懇談会に参加予定。</p> <p>○地区の独居高齢者を対象としたイベントに参加し、介護予防教室への参加を促すことで参加者数増加になり、住民同士のつながりづくりになった。</p> <p>○地域密着型介護サービス事業所の運営推進会議において地域の集いの場の情報提供を行った。</p>
<p>南郷 なんごう</p>	<p>○地域住民から、徒歩で行ける場所なら介護教室があれば行きたい、開催場所が分からない、近所で行事があっても地区が違ふと情報も入らないし参加できない、交通手段が乏しく外出できないという意見がありました。来年度は、地区の集会所を活用し、年間計画をたてて地域全体に周知できるよう準備したいと考えています。</p> <p>○生活困窮者で生活保護対象ではないかとの通報を受けました。本人と面談した結果、これまで複数回生活保護申請をして却下された状況を確認しました。生活福祉課へ問合せし、必要書類の準備の手伝いをし、再申請に同行しました。そのほか、社協のフードバンクが利用できるよう調整しました。</p>